

經 濟 部

農 政 課  
商 工 課  
觀 光 課  
地 籍 調 查 課



# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	ふれあいセンター維持管理経費			会計	一般会計		
根拠法令				款	農林水産業費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	農業費		
	施策	03 農林業の振興		目	農政企画費		
		顧客(誰を)	ふれあいセンター利用者				
		意図(どのように)	地域コミュニティの向上を図ります。				
事業の概要		地区住民等の代表による管理運営協議会が設立され、事業運営を協議会へ指定管理者として委託しています。					
事業全体としての課題		今後は、複合化、地元・民間による活用又は廃止を検討するため、大規模改修・立替えにかかる費用は無いが、経年劣化による施設修繕が必要です。また、地域団体等の施設利用率が低下しています。さらには、小学校の統廃合が予定されており、その跡地利用によっては、ふれあいセンターの在り方が大きく変わる可能性があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	ふれあいセンター利用者数	三村地区・関川地区のふれあいセンター利用者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	5,300	5,300	5,300		
	実績値	3,439	3,150				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,040	2,894	2,597	2,731	4,482	0
	実績額計	3,040	2,894	2,597	2,731	4,482	0
	予算額計	3,066	2,906	2,598	2,742	4,510	3,636
執行率	99.15%	99.59%	99.96%	99.60%	99.38%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	ふれあいセンター修繕箇所数	ふれあいセンターの修繕箇所				箇所	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
平成30年度と比較すると令和元年度の利用者数は減少しました。今後も修繕を行っていくほか、利用者増に結び付ける方策を管理運営協議会で検討する必要があります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	ふれあい農園維持管理経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	農林業の振興		款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農業振興費			
			事業	ふれあい農園維持管理経費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	市民			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	農園の利用増進を図ります。			
事業の概要		農作物の栽培に取り組むことにより、楽しみながら農業への理解と関心を高めることを目的とし、市民農園を設置しています。ふれあい農園利用可能区画（宮部地区76区画、東府中地区95区画）利用料 6,290円/区画（平成26年度から消費税が8%に改定されたことに伴い、利用料を改定。（6,120円/区画→6,290円/区画）消費税が10%に改定された際には利用率の観点から利用料変更はしなかった。					
事業全体としての課題		現在の農園利用率は、東府中農園が3割程度、宮部農園が4割程度と低迷しています。ほとんどが継続利用者です。また、高齢福祉課において、高齢者向けに無料貸農園を提供していることや利用環境などから、今後も新規利用者の獲得は難しい状況です。東府中農園・宮部農園ともに、規模縮小あるいは廃園を検討していきます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	農園利用率	ふれあい農園の利用率（利用区画数/全区画数）		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	70	70	70		
		実績値	40.94	33.52			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	661	629	585	440	364	0
	一般財源	968	957	1,861	3,428	2,529	0
	実績額計	1,629	1,586	2,446	3,868	2,893	0
	予算額計	1,694	1,710	2,510	3,937	3,288	2,083
執行率	96.16%	92.75%	97.45%	98.25%	87.99%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	市報等掲載回数	ふれあい農園のPRのため、市報に掲載し周知を行う。				回	1
	除草等管理委託	各農園の除草作業を行う。				回	6
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
令和元年度の利用率は、平成30年度に比べて減少し、目標には達していない状況です。利用状況等を勘案し、規模縮小または廃園の検討が必要です。					令和3年度		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農力アップ推進事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農業振興費			
		事業	農力アップ推進事業				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	農業生産者及び農業団体			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	農業経営の向上を図る			
事業の概要		<p>既存農業者や新規就農者、農協や農業団体等意欲ある経営体を中心とした『地域力を活かした儲かる農業、持続可能な農業の実現』に向けた取り組みを継続します。さらに『地域営農の維持・向上』、『果樹・園芸の産地改革』を精力的に取り組み、『3アップの実現(魅力アップ、ブランドアップ、知名度アップ)』に努めます。</p>					
事業全体としての課題		<p>a. 直売生産、販売の向上、市の知名度アップが必要です。  b. 果樹・園芸産地の維持、魅力アップを図るため、新品種や人気品種への改植、新しい栽培技術や施設整備の導入が必要です。  c. 大都市近郊という立地条件と豊かで広大な農地を利用した首都圏で評価の高い農産物づくりが必要です。  d. 特産品をリードするブランド品づくりが必要です。</p>					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	—	アウトプットの指標を主とするため、最終目標の指標設定はしていません。		—	—	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	—	—	—		
	実績値	—	—				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	1,786	1,726	1,500	1,500	0	0
	一般財源	0	0	201	255	1,742	0
	実績額計	1,786	1,726	1,701	1,755	1,742	0
	予算額計	1,848	1,778	1,778	1,775	1,750	1,758
執行率	96.65%	97.08%	95.67%	98.87%	99.54%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	農畜産物の販売促進	農畜産物の販売促進、販路拡大活動				回	4
	高付加価値商品	高品質の商品や加工品づくり H29実績累計7品⇒R3目標累計15品				品	8
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
<p>県外において局地的なPRを実施しており、一定の「知名度アップ」は図られていると考えています。今後は、「魅力アップ」、「ブランドアップ」に注力し、継続した事業の運営を進めていきます。</p>					令和3年度		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	県単土地改良事業		会計	一般会計			
根拠法令	土地改良法, 茨城県補助金等交付規則, 県単土地改良事業補助金交付要綱		款	農林水産業費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	農業費			
	施策	03 農林業の振興	目	農地費			
			事業	県単土地改良事業			
			顧客(誰を)	市内農業者			
			意図(どのように)	営農への意識向上, 農業基盤施設の長寿命化をねらいます。			
事業の概要		整備した農業用施設の小規模な改修に対し, 県費及び市費を助成し農業基盤の長寿命化を図ります。八郷地区: 負担率 県補助: 47.5% 市補助: 15.0% 受益者負担: 37.5%					
事業全体としての課題		土地改良施設の多くが耐用年数を超え, かんがい期に故障や漏水等が多くなっていることから, 改修等の事業要望が増える傾向にあります。施設の長寿命化を図る維持点検活動と計画的な施設更新が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	要望地区改善地区数	年度採択後の改善地区数		地区	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	7	5	8		
	実績値	7	5				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	12,452	10,695	7,039	10,872	17,853	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,937	9,500	2,226	3,437	5,645	0
	実績額計	16,389	20,195	9,265	14,309	23,498	0
	予算額計	16,390	20,196	9,265	14,313	23,498	24,627
執行率	99.99%	100.00%	100.00%	99.97%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	要望地区改善地区数	採択後の改善地区数				地区	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
昭和時代に整備されたものが多く, 今後事業要望は増え続ける状況にあります。本事業を計画的に進めることにより, 営農基盤の再構築を継続的に図ります。						—	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	畑地帯総合整備事業		会計	一般会計			
根拠法令	土地改良法		款	農林水産業費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	農業費			
	施策	03 農林業の振興	目	農地費			
			事業	畑地帯総合整備事業			
		顧客(誰を)	市内農業者・区内通行者				
		意図(どのように)	農業基盤の整備を図ります。				
事業の概要		未整備の多い畑地帯の整備(圃場や水利施設, 農道)を茨城県において整備します。県営東成井西部地区負担金: 事業費の12.4%					
事業全体としての課題		当事業は市内において2地区(三村地区及び東成井西部地区)実施されています。三村地区は平成28年度で完了しました。東成井地区に関しましては, 平成27年度完了を予定していましたが, 地権者との協議に時間を要していることや事業費の縮減により完了年度が延長され令和2年度完了を見込んでおります。整備後の営農計画を立てるうえで早期完了が課題となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	要望整備地区数	当年度における各団体から要望がある事業地区数に対する国採択地区数 事業地区=5地区 ○石岡地区(2地区) ○八郷地区(3地区)		地区	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2	2	2		
	実績値	2	2				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	7,000	10,500	5,500	2,100	1,900	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,090	6,780	12,040	4,103	2,334	0
	実績額計	13,090	17,280	17,540	6,203	4,234	0
	予算額計	13,090	17,280	18,330	6,203	4,234	3,720
執行率	100.00%	100.00%	95.69%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	採択地区数	地区から要望されている整備要望採択地区数を目標値として設定				地区	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
農業基盤の整備により, 営農の効率化や意欲向上が図られます。						—	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農道・農業排水路整備事業（単独）			会計	一般会計		
根拠法令	土地改良法			款	農林水産業費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	農業費		
	施策	03 農林業の振興		目	農地費		
				事業	農道・農業排水路整備事業（単独）		
		顧客（誰を）	市内農業者・区内通行者				
		意図（どのように）	営農活動に必要な不可欠な農道等の維持補修を進めます。				
事業の概要		資材支給によって基盤施設の維持補修を地域の取り組みとして行います。					
事業全体としての課題		多くの整備要望に対し計画的な整備を進める必要があります。しかしながら、要望箇所の現状としては、生活道路や集落間の連絡道路としての案件も含まれている上、市道の認定がなされており整備基準の統一を図る上でも、一般市道と農道のすみ分けを排除し、整備事業の一本化が必要となります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	支給対象の土地改良区数	石岡台地土地改良区、八郷土地改良区、山王川土地改良区、関川かすみ土地改良区、高浜入土地改良区		地区	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	5	5	5		
	実績値	2	2				
事業計画	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来年度（予測額）
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,907	17,849	20,287	17,528	860	0
	実績額計	19,907	17,849	20,287	17,528	860	0
	予算額計	20,214	18,064	20,387	18,644	2,580	1,357
執行率	98.48%	98.81%	99.51%	94.01%	33.33%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	支給を行った土地改良区数	砕石、柵板等の支給				地区	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
農業基盤の整備により、営農の効率化や意欲向上が図られます。						—	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	土地改良関係事務費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	土地改良法, 石岡市補助金等交付規則		款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農地費			
			事業	土地改良関係事務費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	市内農業者			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	各種営農団体へ支援することにより, 農家負担の軽減を図ります。			
事業の概要		農業者への土地改良事業償還金の負担費用軽減を図り, 農業経営の振興と経営安定に寄与します。					
事業全体としての課題		過去の土地改良事業における各団体への義務負担等が今後とも続きます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	負担金及び農道整備元利金補償	霞ヶ浦用水事業等の負担金及び農道整備元利金補償の償還		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	21	21	19		
	実績値	21	21				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	12	12	12	12	12	0
	地方債	300	300	400	700	700	0
	その他	700	458	143	21	0	0
	一般財源	173,570	156,318	142,322	73,501	69,851	0
	実績額計	174,582	157,088	142,877	74,234	70,563	0
	予算額計	175,005	158,036	144,027	74,963	70,563	66,368
執行率	99.76%	99.40%	99.20%	99.03%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	負担金	土地改良事業において負担義務となっている負担金の事業件数				件	18
	農道整備事業元利金補償	市が管轄する農道排水路において整備した事業費の償還件数				件	3
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
過去実施した土地改良事業施設の有効利用を図り, 営農活性化を目指します。					—		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	林道開設事業（単独）		予算	会計	一般会計		
根拠法令	森林・林業基本法			款	農林水産業費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	林業費		
	施策	03 農林業の振興		目	林道開設費		
			事業	林道開設事業（単独）			
			顧客（誰を）	山林所有者			
			意図（どのように）	林道の安全性を確保する。			
事業の概要			補助事業等で開設、改良を行った林道の補修や除草等の維持管理業務を行います。				
事業全体としての課題			林道の安全性と利便性を確保するため、適正な維持管理を行い、施設の修繕を計画的に進める必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	修繕箇所数	林道維持のために修繕を行った箇所数		箇所	令和3年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	9	21	14		
		実績値	14	15			
事業計画	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来年度（予測額）
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	9	9	37	9	43	0
	一般財源	25,531	32,609	34,400	20,605	25,229	0
	実績額計	25,540	32,618	34,437	20,614	25,272	0
	予算額計	25,665	38,420	38,031	21,334	33,115	27,004
執行率	99.51%	84.90%	90.55%	96.63%	76.32%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	管理路線	林道維持管理組合へ委託し、除草や排水溝の清掃等を行う。				路線	10
	修繕委託箇所数	林道維持のため修繕委託（支障木撤去・横断側溝・排水溝蓋・法面補修等）した箇所数				箇所	15
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
林道の受益者である山林所有者との共同作業により、除草清掃など軽微な維持管理作業や、災害箇所の早期発見、通報体制を継続していきます。						毎年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	林道開設事業（補助）	予算	会計	一般会計			
根拠法令	森林・林業基本法		款	農林水産業費			
			項	林業費			
			目	林道開設費			
			事業	林道開設事業（補助）			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客（誰を）	山林所有者			
	施策	03 農林業の振興	意図（どのように）	林道の開設により、森林整備の進捗、林業経営の向上を図る。			
事業の概要		林業生産性、森林の有する公益的機能を向上させるため林道の整備を進めます。					
事業全体としての課題		交付金事業が平成30年度で終了したことで、今後の新規開設は難しい状況にあります。今後は、林道の維持管理に重点を置きたいと考えます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	全体計画延長	整備済延長		m	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,252.3	1,252.3	—		
	実績値	934.1	1,252.3				
事業計画	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来年度（予測額）
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	6,162	3,288	13,218	0	13,455	0
	県支出金	2,739	1,461	5,875	0	6,500	0
	地方債	8,400	0	9,200	3,500	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,026	2,837	1,398	8,008	745	0
	実績額計	19,327	7,586	29,691	11,508	20,700	0
	予算額計	19,715	8,980	33,365	11,560	20,700	0
執行率	98.03%	84.48%	88.99%	99.55%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施工延長	単年度毎の施工完了延長				m	318
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
平成30年度事業で国からの交付金が終了したため、林道整備事業を進めることが困難となっています。今後は、整備事業から維持管理事業に重点を移していきます。						令和元年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	林道開設事業（県単）		予算	会計	一般会計		
根拠法令	森林・林業基本法			款	農林水産業費		
				項	林業費		
				目	林道開設費		
			事業	林道開設事業（県単）			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		顧客（誰を）	山林所有者		
	施策	03 農林業の振興		意図（どのように）	林道の開設により森林整備の進捗、林業経営の向上を図る。		
事業の概要			林業生産性、森林の有する公益的機能を向上させるため、国庫補助事業に合致しない路線の整備を進めます。				
事業全体としての課題			県からの補助が要望通りに得られないことや台風等の天候不良で、整備計画に遅れが生じています。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施工延長	工事完成総延長		m	令和2年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	210.4	277.7	277.7		
		実績値	210.4	210.4			
事業計画	過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	過年度（決算額） 令和元年度	現年度（予算額） 令和2年度	将来年度（予測額） 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	1,395	1,600	1,598	1,600	2,000	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,153	2,464	2,455	2,419	3,029	0
	実績額計	3,548	4,064	4,053	4,019	5,029	0
	予算額計	3,574	4,080	4,080	4,080	12,579	16,065
執行率	99.27%	99.61%	99.34%	98.50%	39.98%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	工事延長	年度毎の工事完成延長				m	0
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
令和元年度予算を繰越としたため、令和2年度に完成予定。						令和2年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		経済部		農政課				
事業名	畜産振興経費	予算	会計	一般会計				
根拠法令			款	農林水産業費				
			項	農業費				
			目	畜産業費				
			事業	畜産振興経費				
体系	政策	02	豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	畜産農家			
	施策	03	農林業の振興	意図(どのように)	石岡市衛生指導協会を通して防疫指導を行う。			
事業の概要			①石岡市衛生指導協会を通して畜産農家への防疫・衛生指導。 ②畜産関連団体を通して情報の広報・啓発。 ③耕畜連携による資源循環型農業の推進。					
事業全体としての課題			生産者の高齢化，後継者不足，飼料高騰などにより，畜産経営体，家畜頭羽数は減少傾向にあります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	家畜伝染病発生件数		防疫により家畜伝染病が発生しない事を目標とする。		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	0	0	0			
	実績値	0	0					
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	230	4	4	4	147	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,428	2,053	2,267	2,123	1,847	0	
	実績額計	2,658	2,057	2,271	2,127	1,994	0	
	予算額計	2,658	2,661	2,661	2,588	2,587	2,517	
執行率	100.00%	77.30%	85.34%	82.19%	77.08%	0.00%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	畜産環境保全薬剤購入		消臭剤・殺虫剤・消毒剤購入				件	23
	ワクチン接種補助頭羽数		家畜のワクチン接種に補助金交付				件	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
防疫・衛生指導ができる職員の確保育成とともに，経営体が協力できる体制，畜種ごとに知識，経営状況の相談に応じられるリーダーの育成が必要です。						令和3年度		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農業振興地域整備促進事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市農業振興地域整備促進協議会条例			款	農林水産業費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	農業費		
	施策	03 農林業の振興		目	農政企画費		
			事業	農業振興地域整備促進事業			
			顧客(誰を)	農用地所有者または利用者			
			意図(どのように)	優良な農用地の確保, 活用を図ります。			
事業の概要			農業の振興を図るべき区域を明らかにし, 区域内の有効利用と近代化を促進しています。農業振興地域整備計画を樹立し, 計画の適正な管理・運用を図っています。				
事業全体としての課題			農業従事者の高齢化による後継者不足や, 担い手減少に対する対策が必要です。増加傾向である耕作放棄農地への対策が必要です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	農用地区域の適正な運用		協議会を開催し農用地を適正な運営・活用を図る。		回	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	3	3	3		
	実績値	3	3				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	145	140	128	183	166	0
	実績額計	145	140	128	183	166	0
	予算額計	151	221	221	221	221	205
執行率	96.03%	63.35%	57.92%	82.81%	75.11%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	協議会開催回数	農業振興地域整備計画の適正な管理・運用をするため, 協議会開催回数を目標設定				回	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
農業振興地域整備促進計画については, 土地利用者の状況推移を見ながら, 土地利用計画等との整合性や優良農用地の保全維持を適切に進めます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農政一般経費	予算	会計	一般会計			
			款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農業総務費			
根拠法令	石岡市農林漁業振興等事業補助金交付要綱他	事業	農政一般経費				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	市内農業者・水産業者			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	農家への情報周知, 農水産業団体との連携を図ります。			
事業の概要		農業技術の研鑽及び普及を目的に設立されている各団体について、その事業に要する経費を負担します。					
事業全体としての課題		農業、水産業の振興のため、地域や関係機関・団体との継続的な連携が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	負担金	霞ヶ浦北浦水産振興協議会等の負担金件数			件	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	4	4	4		
		実績値	4	4			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,786	3,840	2,747	2,616	1,009	0
	実績額計	2,786	3,840	2,747	2,616	1,009	0
	予算額計	3,079	4,187	2,917	2,925	1,189	1,304
執行率	90.48%	91.71%	94.17%	89.44%	84.86%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	負担金支払件数	霞ヶ浦北浦水産振興協議会等の負担金件数				件	4
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
農業振興のため地域や関係機関、団体との継続的な連携が必要です。令和2年度は、農政協力員へ報酬を支払う代わりに、個人郵送での文書の配布を試験的に施行していきます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農道整備事業（単独）	予算	会計	一般会計			
根拠法令	土地改良法		款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農地費			
			事業	農道整備事業（単独）			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客（誰を）	市内農業者・区内通行者			
	施策	03 農林業の振興	意図（どのように）	基幹農道の整備より営農の活性化を図ります。			
事業の概要		旧田園整備事業により計画された農道を県営により整備します。農道整備事業で実施する事業費の内、公共性が高い事業であるため、受益者負担金を市で負担します。県営土地改良事業（八郷中央2期地区）旧田園交流基盤整備事業、県営土地改良事業（東筑波地区）旧田園空間整備事業					
事業全体としての課題		当該事業全般は、平成21年度国行政刷新会議において、廃止として位置づけられた「田園整備関連事業」ですが、「農山漁村地域整備交付金事業」として執行されることになりました。しかし、継続として認められたものの国財源の減少により整備の遅れが懸念されます。本事業については、廃止として位置づけられていますので、本地区完了後で終了します。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	負担金件数	事業地区：八郷中央地区 1地区、東筑波地区 1地区		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2	2	1		
	実績値	2	2				
事業計画	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来年度（予測額）
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	24,500	10,600	38,500	14,200	12,200	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10,796	5,636	31,769	15,848	13,184	0
	実績額計	35,296	16,236	70,269	30,048	25,384	0
	予算額計	59,614	16,700	72,100	30,048	25,405	16,250
執行率	59.21%	97.22%	97.46%	100.00%	99.92%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	負担金件数	整備事業が行われている件数				件	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
国や県の動向を注視してまいります。						特になし	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	地域水田農業推進事業		予算	会計	一般会計		
				款	農林水産業費		
				項	農業費		
根拠法令	経営所得安定対策実施要綱, 直接支払推進事業実施要綱 他			目	水田農業構造改革対策費		
			事業	地域水田農業推進事業			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	水田農業者			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	持続可能な水田農業を目指します。			
事業の概要		地域の特性を生かした水田農業を振興するため、水田農業情報のシステム化による管理を行います。					
事業全体としての課題		国の米政策の転換が多くあり、国の政策に頼るべきところは頼る一方で国の政策に左右されない地域の特性を生かした水田農業の振興が求められています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	水田台帳による水田農家の管理率	水田台帳の適正な管理		%	令和3年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	100	100	100		
		実績値	100	100			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	9,221	9,700	9,537	9,060	9,773	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,567	1,432	1,519	2,119	1,725	0
	実績額計	10,788	11,132	11,056	11,179	11,498	0
	予算額計	11,507	11,714	11,764	12,606	12,671	13,007
執行率	93.75%	95.03%	93.98%	88.68%	90.74%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	水田台帳による管理農家戸数	水田台帳の適正な管理				戸数	5,300
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
地域の特性を生かした水田農業の振興を図りつつ、国の米政策に合わせて事業を推進していきます。平成29年度を最後に、国による生産目標の配分が終了し、地域主体の生産調整へ移行するので、新たな水田農業ビジョンを策定し、関係機関とより一体となって事業を進めていきます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	林業振興経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	森林・林業基本法		款	農林水産業費			
			項	林業費			
			目	林業振興費			
		事業	林業振興経費				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	山林所有者及び森林を整備しようとする組織、団体等			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	森林・林業を再生するとともに、森林資源の活用を促進する。			
事業の概要		森林整備を推進し、林業基盤の確保と森林の多目的機能の維持、増進を図ります。					
事業全体としての課題		林業の採算性の悪化により森林が荒廃するなか、森林の有する機能、公益性が低下しており、早急かつ集約的な整備が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	森林整備面積	市が認定の計画面積の内、杉・桧の調査面積累計。 (除間伐・枝打ち・下狩り等) 経営計画(10年) 団地内人工林=700ha		ha	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	700	700	700		
	実績値	624.07	700				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	1,238	1,240	166	102	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	242	242	242	229	195	
	一般財源	3,065	4,753	5,425	2,956	3,097	
	実績額計	4,545	6,235	5,833	3,287	3,292	
	予算額計	4,753	6,693	7,196	3,975	3,443	6,667
執行率	95.62%	93.16%	81.06%	82.69%	95.61%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	森林整備面積	市が認定している計画面積中、特にスギ・ヒノキの人工林における年間施業面積とする。				ha	75.93
	青少年の森林や自然への関心	学校の校庭や校舎、学校林等に環境整備を行います。(緑の少年団)				校	15
	保安林維持管理委託	龍神山付近の保安林の維持管理(除草、倒木・不要木処理)を行います。				回	6
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
森林事業認定事業体等への支援を行い、市内全体の森林面積(6,000ha)の長期整備計画を立案していく必要があります。					継続		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農業経営対策事業		会計	一般会計			
根拠法令	石岡市農林業振興等対策事業補助金交付要綱		款	農林水産業費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	農業費			
	施策	03 農林業の振興	目	農政企画費			
			事業	農業経営対策事業			
			顧客(誰を)	認定農業者			
			意図(どのように)	地域農業力の向上を図る。			
事業の概要		<p>農業者に対し農業関連補助事業・農業経営改善資料配布・農業資金情報提供等を行います。地区の勉強会や先進地視察研修により新たな農業動向を研究しながら自らの経営改善を図っています。また、青年就農者が共同で主催するイベントへの支援も行っています。</p>					
事業全体としての課題		<p>市内の農業者は、各品目ごとに活動しているため、生産品目に囚われない広い視野で認定農業者間の情報交換及び世代間の連携が重要です。また、認定農業者になっても、協議会にメリットが感じられず加入しない生産者、もしくは改善計画の更新時(5年ごと)に脱退を申し出る生産者が増加傾向にあります。</p>					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	認定農業者連絡協議会員の維持・増加	会員の維持・増加		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	140	140	140		
	実績値	120	125				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	310	310	301	301	301	0
	実績額計	310	310	301	301	301	0
	予算額計	310	310	301	301	301	301
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	認定農業者連絡協議会による講習会の参加回数	認定農業者の交流及び情報交換、知見を広げることを目的とした講習会等への参加				回	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
<p>地域リーダー的存在である認定農業者は地域ぐるみ、集落営農等の政策を展開する場合において欠かすことのできない存在となっています。認定農業者連絡協議会の拡大と交流、情報共有を図り、地域農業の活性化を目指します。</p>						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	園芸振興経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市農林漁業振興等事業補助金交付要綱他		款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目 事業	園芸振興費 園芸振興経費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客 (誰を)	市内農業者			
	施策	03 農林業の振興	意図 (どのように)	農業経営の維持継続を促進しさらなる振興を図っていきます。			
事業の概要		石岡市の特産物である柿の皇室献上を行っています。(皇室柿献上委託料) 新規就農・定年帰農者が安定生産を図るため、施設整備の支援を図ります。環境保護の観点から農業用使用済みビニール・プラスチックの回収をしています。(茨城農林振興公社負担金)					
事業全体としての課題		環境に配慮し安全安心な農産物生産を行っています。価格低迷などにより販売環境は益々厳しさを増しているため、様々な支援により産地活性化が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	パイプハウス設置補助件数	園芸作物の生産拡大を図るため、パイプハウスの設置に対する補助金の交付件数		件	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	10	10	10		
	実績値	10	10				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	18,321	12,040	1,875	0	591	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	17,091	11,062	0	0	0	0
	一般財源	4,068	2,621	1,039	2,750	2,461	0
	実績額計	39,480	25,723	2,914	2,750	3,052	0
	予算額計	39,792	26,280	4,039	3,102	3,254	3,174
執行率	99.22%	97.88%	72.15%	88.65%	93.79%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	廃プラスチック回収事業回数	農業用廃プラスチックの回収				回	3
	富有柿献上回数	富有柿を皇室に献上し、果樹産地としてのPRする				回	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
地域農業の担い手の確保、育成や若い世代の就農を推進していく必要があります。そのためには、就農機会の確保、初期投資にかかる負担軽減等の総合的な支援が必要になります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農政企画経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	農林業の振興		款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農政企画費			
			事業	農政企画経費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	生産者、認定農業者及びJAなど各種団体			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	経営向上の支援をします。			
事業の概要		生産者、認定農業者が生産基盤向上のために借入れた資金に対する利子の助成や耕作放棄地再生や有機農業の振興、農協の営農活動の支援などの事業を行なっています。					
事業全体としての課題		生産者の高齢化や担い手不足、販売価格の変動、自然災害などに対応した多様な取り組み行っていく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	認定農業者数	市内の認定農業者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	240	240	240		
	実績値	247	239				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	4,137	25,569	3,199	2,889	4,085	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	2,766	2,725	0	0
	一般財源	11,439	22,844	10,068	10,777	13,710	0
	実績額計	15,576	48,413	16,033	16,391	17,795	0
	予算額計	17,060	51,340	17,704	18,933	19,085	23,457
執行率	91.30%	94.30%	90.56%	86.57%	93.24%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	耕作放棄地再生利用補助金	市内耕作放棄地再生利用面積を目標設定				ha	1.23
	農協営農活性化事業補助金	市内農業生産販売量の目安としてJA農産物販売取扱額を目標設定				千円	8,146,292
	環境保全型農業直接支援交付金	環境に優しい農業に取り組む団体数				団体	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
国や県の支援制度及び補助金を活用し、支援を継続し、地域力を活かした儲かる農業、持続可能な農業の実現を目指します。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	新規就農者支援対策経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農業振興費			
		事業	新規就農者支援対策経費				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	就農希望者及び新規就農者			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	農業経営の安定と定住促進			
事業の概要		農林水産業の分野で、従事者の高齢化、後継者不足などによる地域農業の衰退や農地の荒廃が進む中、新たな担い手を確保育成することで農林水産業の振興を目的としています。					
事業全体としての課題		農林水産業従事者の高齢化・担い手不足が深刻です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	新規就農者	新規就農者の増		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	6	6	8		
	実績値	12	16				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	22,250	29,452	29,746	32,137	32,422	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	116	99	203	222	215	0
	実績額計	22,366	29,551	29,949	32,359	32,637	0
	予算額計	23,026	29,739	29,988	32,393	32,664	39,051
執行率	97.13%	99.37%	99.87%	99.90%	99.92%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	就農相談会(イベント)出展回数	イベント等での新規就農者への継続的な勧誘				回	3
	就農相談	石岡市就農支援センター(農政課)での相談件数				件	17
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
これまで以上に積極的なPR活動を展開し、新たな就農者の確保を目指すとともに農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)、朝日里山ファームの研修システムを活用して支援してまいります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	鳥獣被害対策事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農業振興費			
			事業	鳥獣被害対策事業			
体系	政策	02	豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	市民全般		
	施策	03	農林業の振興	意図(どのように)	農産物に被害を与える有害鳥獣を捕獲し、被害防止活動を推進します。		
事業の概要			<p>①石岡市鳥獣被害対策実施隊を結成し、農作物等に被害を与える有害鳥獣の捕獲活動を行います。                  ②東電福島原発事故のイノシシへの放射能汚染等の影響による捕獲頭数が減少することを防止するため、農作物被害防止の観点からイノシシを捕獲及び処分した者に対し報償金を交付します。③狩猟免許取得者に対する助成や防止柵の設置補助など地域ぐるみの被害防止活動を支援します。</p>				
事業全体としての課題			<p>イノシシやカラスなどの有害鳥獣による農産物被害が多数発生しており、その対策が求められています。更に、捕獲従事者の高齢化に対応した捕獲体制の整備、新規狩猟従事者の確保や地域ぐるみの被害防止活動の推進が必要となっています。</p>				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	年間のイノシシ捕獲		イノシシの捕獲頭数		頭	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,007	1,007	900		
	実績値	747	821				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	7	7	4	3	3	0
	一般財源	9,180	10,216	12,144	14,033	17,479	0
	実績額計	9,187	10,223	12,148	14,036	17,482	0
	予算額計	10,015	12,083	13,937	17,562	19,522	22,146
執行率	91.73%	84.61%	87.16%	79.92%	89.55%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	有害鳥獣捕獲	茨城県の承認を受けた石岡市鳥獣被害防止計画からイノシシ、カラス類等の捕獲数を設定 イノシシ R1目標400頭、実績293頭 カラス類 R1目標340羽、実績201羽				頭	494
	狩猟期間中のイノシシ捕獲	過去の狩猟期間中におけるイノシシの捕獲実績により設定 イノシシ R1目標607頭、実績528頭				頭	528
	狩猟免許取得	地域ぐるみの被害防止活動を推奨するため、わな取得を目標に設定				名	10
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
被害防止につながっています。継続した効果を発揮するためにも、その活動に参加できる隊員の確保、わな免許取得の助成などの地域ぐるみの捕獲活動に積極的に取り組む必要があります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	農地中間管理事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	農林水産業費			
			項	農業費			
			目	農業振興費			
		事業	農地中間管理事業				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	市内農業者			
	施策	03 農林業の振興	意図(どのように)	農地の集積を促進します。			
事業の概要		農業経営の規模拡大、耕作の事業に供される農用地の集団化、新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等による農用地利用の効率化及び高度化を図り、農業の生産性の向上に資することを目的としています。					
事業全体としての課題		出し手農家から担い手へ農地のマッチングを行い、農地を貸し付けるための手続きを農地中間管理機構が行います。これにより、農地集積の促進や耕作放棄地となるおそれのある農地の減少が期待できます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	農地の集積面積	区域を設定し区域内農地の集積を進める		ha	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	25	25	—		
	実績値	45.88	12.24				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	13,194	2,174	4,937	5,288	1,527	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	実績額計	13,194	2,174	4,937	5,288	1,527	0
	予算額計	13,194	2,174	4,938	5,288	1,527	0
執行率	100.00%	100.00%	99.98%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	モデル地区説明会の開催	モデル地区説明会の開催回数				回	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
農家・担い手に対する働きかけを継続し、事業の拡大を図ります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	多面的機能支払交付金事業		会計	一般会計			
根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律（平成26年法律第78号）		款	農林水産業費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	農業費			
	施策	03 農林業の振興	目	農地費			
			事業	多面的機能支払交付金事業			
			顧客（誰を）	市民及び来訪者			
			意図（どのように）	農業基盤の保全、景観形成、施設の延命化を推進します。			
事業の概要		地域共同による農地・農業用水等の保管理活動及び施設の長寿命化のための活動等に対する支援を行います。（5年継続事業） ①農地維持支払交付金（農地施設機能の点検・水路清掃・除草など） ②資源向上支払交付金（共同活動）（農業施設の簡易な補修・水質調査・植栽など）③ 資源向上支払交付金（長寿命化）（老朽化が著しい農業用施設の補修など）					
事業全体としての課題		農業従事者の高齢化、農作業の担い手依存が高まる中で、農村環境の保全、施設の維持管理に対する地域ぐるみの取り組み、意識の向上を図る必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	取組面積	農業振興地域内の取組を進める		ha	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	17,830	17,830	17,830		
		実績値	1,450	1,518			
事業計画	過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	過年度（決算額） 令和元年度	現年度（予算額） 令和2年度	将来年度（予測額） 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	67,541	85,636	68,242	71,799	93,902	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	22,514	28,547	22,748	23,933	31,301	0
	実績額計	90,055	114,183	90,990	95,732	125,203	0
	予算額計	90,056	114,183	90,991	95,733	125,203	144,139
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	活動面積	活動面積を目標とします。				ha	1,518
	説明会	新規加入を検討している地区での住民説明会				回	4
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
農村環境の維持・保全のため活用すると共に、地域ぐるみの取組を推進します。					特になし		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		農政課			
事業名	身近なみどり整備推進事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	森林・林業基本法		款	農林水産業費			
			項	林業費			
			目	林業振興費			
			事業	身近なみどり整備推進事業			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ	顧客 (誰を)	森林環境に接する市民			
	施策	07 環境保全の推進	意図 (どのように)	平地林や里山など身近なみどりを再生・保全する。			
事業の概要		茨城県森林湖沼環境税を活用し、市民生活に身近な森林を整備し、快適で豊かな森林環境づくりを推進します。					
事業全体としての課題		身近な森林の荒廃が進んでいるため、森林所有者や周辺の市民からの整備要望が増える一方、県の予算配分が減額される傾向にあるとともに、整備後の維持管理が課題となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	整備面積	間伐・下刈りを実施した面積		ha	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	10	6	6		
	実績値	5.3	6.2				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	3,531	1,808	7,187	2,400	5,642	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	22	0	0	0
	実績額計	3,531	1,808	7,209	2,400	5,642	0
	予算額計	3,561	2,295	7,300	3,500	6,600	6,100
執行率	99.16%	78.78%	98.75%	68.57%	85.48%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	広報活動	身近なみどり整備推進事業を行うにあたり、ホームページや市報への掲載回数				回	2
	整備箇所数	身近なみどり整備推進事業の整備箇所数				箇所	6
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
荒れてしまった身近な森林を整備することで、安心安全な生活環境づくりに貢献していきます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		経済部		商工課					
事業名	企業誘致推進事業		会計	一般会計					
根拠法令	工場立地法・未来投資促進法等		款	商工費					
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	商工費					
	施策	01 企業誘致の推進・工業の振興	目	商工振興費					
			事業	企業誘致推進事業					
		顧客(誰を)	県内外企業及び市内企業等						
		意図(どのように)	新たな企業の誘致、既存立地企業の拡張促進や撤退抑止						
事業の概要		<p>県内・県外の企業・金融機関・デベロッパー等に働きかけ、市内未利用地等への企業誘致活動を行います。また、市内企業においては、拡張・増設等の働きかけを行います。</p> <p>企業誘致に優位となる優遇制度を設けています。また、企業活動における各種法令等に対応するべく、ワンストップサービスを推進しています。</p>							
事業全体としての課題		<p>石岡小美玉スマートICが整備され、交通の便が非常に良くなったことから、企業誘致も進み、既に工業団地内敷地も空き状況がない現状です。</p> <p>市の財政面や市民の雇用の場の確保の観点からも、市街地の居住環境の維持・向上や自然環境との調和を図りながら周辺未利用地の活用を検討し、企業のニーズを把握しながら、県と連携し企業誘致を実施することが重要となっています。</p>							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	新規立地(増設)企業数	市内に新たに進出した企業数(既存企業の増設等を含む)		件	令和3年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	2			2	2	
実績値	2	2							
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	1,404	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	454	1,404	0	0		
	一般財源	6,630	3,952	2,713	1,260	1,494	0		
	実績額計	6,630	3,952	3,167	4,068	1,494	0		
	予算額計	7,525	6,125	3,595	4,343	1,753	3,577		
執行率	88.11%	64.52%	88.09%	93.67%	85.23%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	石岡市企業誘致雇用促進奨励補助金	<p>新增設する企業で、市内従業員を5名(中小企業は3名)以上新たに雇用した場合12万円/人を支給。対象となる従業員数を目標設定。</p>				人	8		
	企業誘致相談件数及び市内企業現況調査	<p>市内への企業誘致活動及び市内企業の増設並びに各種法令に関する相談等の対応回数</p>				回	209		
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)			
<p>柏原工業団地を中心とした立地促進だけでなく、既存企業の事業拡大及び撤退抑止など、企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。</p>						令和3年度			

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		商工課			
事業名	労働一般事務費	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	労働費			
			項	労働諸費			
			目	労働諸費			
体系	政策	02	豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	労働者, 就職希望者, 企業		
	施策	01	企業誘致の推進・工業の振興	意図(どのように)	雇用の創出・安定, 労働力の確保		
事業の概要		労働者の安定した生活と福祉の増進を図るため, 共済融資保証料補給・永年勤続表彰など, 資金面での支援を実施しています。 石岡地区雇用対策協議会に参画し, 他団体と連携した雇用対策についての調査研究及び事業を実施しています。					
事業全体としての課題		中小企業の経営は依然厳しい状況であり, 雇用においても人材不足が深刻な課題であるため, 当市独自の雇用対策が必要となります。また, 求職者においては, 大企業など一般的によく知られている企業の情報や特定の業種について認識はありますが, 学生の目が向きにくい業種や, あまり知られていない中小企業もあることから, 学校機関と連携し企業情報を早期の段階から学生に提供するとともに, 就職への取組み体制を意識してもらう体制づくりを図っていく必要があります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	有効求人倍率		ハローワーク石岡管内の有効求人倍率		倍	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1	1	1		
	実績値	1.18	1.11				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	499	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	406	402	691	908	249	0
	実績額計	406	402	691	1,407	249	0
	予算額計	715	715	1,000	1,724	754	732
執行率	56.78%	56.22%	69.10%	81.61%	33.02%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	石岡地区雇用対策協議会開催回数	雇用の安定及び労働力確保に必要な調査研究及び協議会の開催回数				回	5
	ハローワーク石岡との研究会開催回数	中小企業者の活性化のため, 社会保険労務士協会・市・ハローワーク石岡で制度や事例などについて研究する回数				回	4
	日本労働者信用基金協会との研究会開催回数	中小企業労働者共済融資の利用促進のため, 日本労働者信用基金協会・中央労働金庫・市で調査研究する回数				回	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
企業や関連団体と連携し, 雇用の創出を探るとともに, 中小企業者を対象とする補助制度や企業情報などの情報発信に努めます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		経済部		商工課					
事業名	就職支援事業	予算	会計	一般会計					
根拠法令			款	労働費					
			項	労働諸費					
			目	労働諸費					
		事業	就職支援事業						
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	企業及び就職希望者(新卒者)					
	施策	01 企業誘致の推進・工業の振興	意図(どのように)	労働者の確保					
事業の概要		学卒・未就職者に対して企業面接会及び説明会、情報提供等を実施することにより、若年層の人材の就業ニーズと、地元企業の採用ニーズとのマッチングを行い、市民の就業環境の向上を図ることを目的としています。							
事業全体としての課題		就職説明会に参加する企業よりも学生の参加が少ない状況となっており、参加学生の確保を強化すると共に、受入企業の情報と新卒者の情報をマッチングさせ、内定率を引き上げて行くことが重要です。また、新規採用を考えている企業の発掘と面接会及び説明会への参加を希望する学生に対して、効率的に周知・広報することが必要です。求人数を向上させるため、企業誘致と一体的に取り組む必要があります。							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	就職面接会に参加したことで採用が内定した学生数	面接会に参加したことで採用が内定した学生数		人	令和3年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	20			10	10	
実績値	11	3							
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他	369	434	0	0	0			
	一般財源	0	0	571	517	328	0		
	実績額計	369	434	571	517	328	0		
	予算額計	765	559	769	634	615	537		
執行率	48.24%	77.64%	74.25%	81.55%	53.33%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	面接会等における、求人情報誌等の冊数	面接会に参加した学生に配布する求人情報誌の冊数				冊	41		
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)			
目標には達していないものの、この事業により地元企業へ内定・就職した学生がいます。今後も、若い労働力を確保したい中小企業と、地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。						令和3年度			

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		商工課			
事業名	商工振興事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	信用保証協会法, 商工会議所法, 商工会法等			款	商工費		
				項	商工費		
				目	商工振興費		
			事業	商工振興事業			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		顧客(誰を)	商工関係団体		
	施策	02 商業の振興・中心市街地の活性化		意図(どのように)	活力と賑わいのある産業		
事業の概要			中小企業に対する各種補給金や商店街で実施する活性化事業への資金的支援を実施しています。				
事業全体としての課題			商業振興に関しては、市・商工会議所・商工会等により、様々な施策を実施しておりますが、改善の傾向がなかなか見えてこない現状です。そのため、今後、市内各業種のこだわりの製品や取り組み情報を発信し、魅力ある・ひとが集まるまちづくりを関係団体及び熱意ある事業者等とともに、検討していく必要があります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	新規起業数		商工会議所・商工会への新規会員数		件	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	10	10	10		
		実績値	18	10			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	135,821	0	0	0	0	
	県支出金	5,554	460	320	123	1	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	28,791	8,915	9,215	0	0	0
	一般財源	63,049	86,509	83,007	90,891	107,108	0
	実績額計	233,215	95,884	92,542	91,014	107,109	0
	予算額計	274,626	114,339	112,145	110,180	129,384	136,693
執行率	84.92%	83.86%	82.52%	82.60%	82.78%	0.00%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	柏原工業団地運営協議会事業補助金		工業団地企業における各種イベントや講習会, 社会貢献事業などについて協議する回数			回	9
	商工会議所補助金		商工会議所会員数			人	1,438
	商工祭事業補助金		商工祭来場者数			人	22,300
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
関係団体等と協力し, 魅力ある商店街の創出を検討し, 交流人口の拡大を図ります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		商工課			
事業名	中心市街地活性化事業		会計	一般会計			
根拠法令	中心市街地活性化法, 地域商店街活性化法等		款	商工費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	商工費			
	施策	02 商業の振興・中心市街地の活性化	目	商工振興費			
			事業	中心市街地活性化事業			
			顧客(誰を)	商業者, 地域住民, 来街者			
			意図(どのように)	歩いて暮らせる生活空間及び賑わう魅力あるまちを形成する。			
事業の概要		中心市街地の魅力向上を図るため, 商店街等や市民活動団体などまちに関わるすべての人々の活動を支援します。 都市機能の集積を図るため, 中心市街地活性化基本計画の推進を図ります。					
事業全体としての課題		人口減少や超高齢社会の到来を迎える中で, 高齢者をはじめとする多くの人々が暮らしやすい魅力あるまちづくりを目指していくために, 各種都市機能が集積したコンパクトなまちを形成し, 経済的にもコミュニティとしても衰退してしまった中心市街地の再生が課題となっています。また, 歩行者通行量が減少傾向にあるなかで, 中心市街地における生活機能・商業機能等の向上が求められていますが, 商業者の高齢化などを要因とした活力低下が課題となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	中心市街地内の居住者人口	中心市街地活性化基本計画の区域内における居住者人口		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	4,880	4,880	4,880		
	実績値	3,861	3,782				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	8,967	1,156	4,518	1,442	0	
	一般財源	6,000	8,201	179	1,131	1,298	0
	実績額計	14,967	9,357	4,697	2,573	1,298	0
	予算額計	16,983	10,920	6,352	5,066	4,090	2,639
執行率	88.13%	85.69%	73.95%	50.79%	31.74%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	中心市街地活性化事業補助金	中心市街地活性化基本計画事業及び中心市街地活性化に資する事業について, 実施団体への一部補助を行う件数				件	4
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
中心市街地活性化基本計画(第2期)の中で, 見直しが必要な事業については, 事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また, 新規事業として, これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。そして, これらの事業計画により, 1コンパクトな都市機能づくり, 2住み続けられるまちづくり, 3賑わいの導線づくり, 4商業振興と地域資源みがき, 5まちなか観光の推進の実現に向けた事業に取り組んでいきます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	観光対策経費		予算	会計	一般会計		
		款		商工費			
		項		商工費			
根拠法令	石岡市観光協会補助金交付要綱, おまつり振興協議会補助金交付要綱等			目	観光事業費		
		事業					
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	来客者			
	施策	04 観光業の振興	意図(どのように)	観光の振興により, 当市への誘客を図ります。			
事業の概要		市観光協会等各種団体と共に観光事業を振興し, 観光客の誘客により地域の活性化を図ります。観光施設の維持管理, 史跡・名勝等の活用, 郷土文化の助長・発展, 観光情報の収集・発信を行い, 観光客の誘客を図ります。					
事業全体としての課題		里山景観や歴史・文化などの地域資源を活用した通年型観光の強化, 観光滞在時間を延長するための周遊観光を促す環境づくり, 観光地としての石岡ブランドの創造とPRに取り組む必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
		実績値	71.2	71.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	4,629	17,807	0
	県支出金	13,595	101	110	111	116	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	348	3,249	12,858	13,055	19,864	0
	一般財源	68,049	51,376	44,459	74,173	40,123	0
	実績額計	81,992	54,726	57,427	91,968	77,910	0
	予算額計	96,219	55,911	58,017	129,875	94,758	96,337
	執行率	85.21%	97.88%	98.98%	70.81%	82.22%	0.00%
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	石岡市観光入込客数	石岡市への観光入込客数を目標設定				人	1,471,600
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
観光客の満足度向上を図るため, 魅力ある観光地域づくりを推進するとともに, 戦略的な情報発信を進めていきます。また, 持続可能な観光産業を育成するための施策を実施していきます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	観光案内所運営経費			会計	一般会計		
根拠法令				款	商工費		
				項	商工費		
				目	観光事業費		
				事業	観光案内所運営経費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		顧客(誰を)	来客者		
	施策	04 観光業の振興		意図(どのように)	観光案内や観光情報の提供、物販等を行います。		
事業の概要		公共交通機関の拠点となるJR石岡駅前に立地する総合観光案内所として、市内観光や宿泊施設等の案内、旬の観光情報の提供、特産品の販売などを行なっています。					
事業全体としての課題		観光案内の総合窓口としての機能強化や幅広い分野の情報収集、情報発信力を高めていく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市内観光施設来客者数	やさと温泉ゆりの郷・つくばねオートキャンプ場・常陸風土記の丘・茨城県フラワーパーク・ふれあいの森・朝日里山学校・国民宿舎つくばね・石岡市観光案内所・まち蔵藍への来客者数			人	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	696,000	605,000	540,000		
	実績値	611,232	566,702				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	1,001	2,400	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,973	1,820	1,952	3,888	4,046	0
	実績額計	6,973	1,820	1,952	4,889	6,446	0
	予算額計	7,239	2,215	1,997	6,894	7,159	7,178
執行率	96.33%	82.17%	97.75%	70.92%	90.04%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	観光案内所利用者数	観光案内所の来客者数				人	13,685
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
市内の各観光施設との連携を強化し、旬の観光情報を発信するとともに、多様化する観光客のニーズに応えられるような、情報発信機能の強化が必要です。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	常陸風土記の丘管理運営費			会計	一般会計		
根拠法令	石岡市常陸風土記の丘条例			款	商工費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	商工費		
	施策	04 観光業の振興		目	観光施設費		
				事業	常陸風土記の丘管理運営費		
		顧客(誰を)	来客者				
		意図(どのように)	当施設への誘客を図ります。				
事業の概要		当市の歴史と自然を体感できる施設で、考古学資料や古代家屋、四季折々の草花などが楽しめます。茅葺き屋根文化の伝承拠点として、茅葺き職人の育成や材料の確保なども取り組んでいます。					
事業全体としての課題		市民の憩いの場である公園としての機能や歴史・文化的施設としての機能を果たしていますが、有料エリアの入場者数が停滞しています。また、年間を通じた誘客が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
		実績値	71.2	71.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	2,830	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	3,790	0	0	0	
	一般財源	66,751	70,726	110,685	82,261	76,176	0
	実績額計	69,581	74,516	110,685	82,261	76,176	0
	予算額計	70,737	112,037	112,642	82,523	76,217	71,522
執行率	98.37%	66.51%	98.26%	99.68%	99.95%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	常陸風土記の丘来客者数	常陸風土記の丘の来客者数				人	136,002
	常陸風土記の丘施設利用料	常陸風土記の丘の施設利用料				千円	1,791
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
年間を通しての誘客と来訪者の満足度向上を図るため、ソフトとハードの両面での環境整備が必要です。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	国民宿舎管理運営費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市国民宿舎つくばね条例		款	商工費			
			項	商工費			
			目	国民宿舎費			
			事業	国民宿舎管理運営費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	来客者			
	施策	04 観光業の振興	意図(どのように)	利用の増進を図ります。			
事業の概要		筑波山の中腹に位置する八郷地区唯一の宿泊施設で、宿泊のほか会合や飲食等に利用されています。					
事業全体としての課題		昭和49年に開業した施設で、施設の老朽化が目立ち、耐震強度にも問題があることから、継続して使用するためには大規模な施設改修工事が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
		実績値	71.2	71.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	34,701	48,283	47,973	51,975	51,209	0
	実績額計	34,701	48,283	47,973	51,975	51,209	0
	予算額計	34,701	48,294	48,838	52,120	51,743	45,293
執行率	100.00%	99.98%	98.23%	99.72%	98.97%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	国民宿舎つくばね来客者数	国民宿舎つくばねの来客者数				人	16,343
	国民宿舎つくばね施設利用料	国民宿舎つくばねの施設利用料				千円	17,882
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
施設の老朽化が進んでいることから、個別施設計画に基づき、施設の位置づけや整備の方向性などについて、検討する必要があります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	施設管理運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市ふれあい交流施設やさと温泉ゆりの郷条例			款	総務費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	総務管理費		
	施策	04 観光業の振興		目	ふれあい交流施設費		
			事業	施設管理運営経費			
			顧客(誰を)	来客者			
			意図(どのように)	施設への誘客を図ります。			
事業の概要			筑波山麓の自然に囲まれた天然の温泉施設で、年間を通じて多くの市民や観光客に利用されています。施設には、地元食材を使用したレストランや地元の農畜産物や特産品などを取り揃えた物産館を併設しており、ふれあいと交流を通じて地域の活性化を推進しています。				
事業全体としての課題			平成24年度に大規模なリニューアル工事を実施し、利用者の増加につながっています。オープンから15年以上が経過しており、駐車場などに関する大規模な施設改修計画の策定や地元食材を使用した新メニューの開発などが必要です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合			%	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
		実績値	71.2	71.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	7,192	0	4,000	21,546	10,678	0
	一般財源	558	147	558	260	754	0
	実績額計	7,750	147	4,558	21,806	11,432	0
	予算額計	8,098	147	4,969	21,947	11,687	11,826
執行率	95.70%	100.00%	91.73%	99.36%	97.82%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	やさと温泉ゆりの郷の観光入込客数	やさと温泉ゆりの郷の観光入込客数を目標設定				人	149,662
	やさと温泉ゆりの郷の利用料	やさと温泉ゆりの郷の利用料を目標設定				千円	126,548
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
利用者が頭打ちになっており、施設の改修を進めるだけでなく、利用者の増加と満足度向上を図るため、周辺の観光施設や地域資源と連携した取り組みも必要になります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	フラワーパーク管理運営費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	茨城県フラワーパーク条例		款	商工費			
			項	商工費			
			目	観光施設費			
			事業	フラワーパーク管理運営費			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	来客者			
	施策	04 観光業の振興	意図(どのように)	施設への誘客を図ります。			
事業の概要		バラを中心とした花と緑の観光施設で四季折々の花が楽しめる当市を代表する観光施設です。また、花に関する知識の普及や栽培技術の向上に資する役割を担っています。					
事業全体としての課題		施設リニューアル工事の実施、イベントや講座など新たなソフトメニューの充実により、観光客が増加傾向です。また、「花の演出企画」構想に基づき、ソフト・ハードの両面から整備を進める必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
	実績値	71.2	71.7				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	5,170	23,201	0	0
	県支出金	31,035	20,561	20,561	20,549	6,000	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	79,266	80,572	77,187	98,928	117,810	0
	実績額計	110,301	101,133	102,918	142,678	123,810	0
	予算額計	111,525	101,460	103,340	143,016	130,504	220,178
執行率	98.90%	99.68%	99.59%	99.76%	94.87%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	茨城県フラワーパークの観光入込客数	茨城県フラワーパークの観光入込客数を目標設定				人	200,001
	茨城県フラワーパークの利用料金	茨城県フラワーパークの利用料金を目標設定				千円	104,989
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
茨城県が策定した魅力向上計画に基づく施設のリニューアルにより、利用者の増加と満足度の向上が図られる中、駐車場の拡充など周辺地域を含めた環境整備が必要になります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	ふれあいの森管理運営費	予算	会計	一般会計			
			款	商工費			
			項	商工費			
			目	観光施設費			
根拠法令	石岡市ふれあいの森条例	事業	ふれあいの森管理運営費				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	顧客(誰を)	来客者			
	施策	04 観光業の振興	意図(どのように)	施設への誘客を図ります。			
事業の概要		フラワーパークと一体となった森林公園として、河津桜やシャガ、やまゆりなどの花々や展望台までのウォーキングを楽しめるとともに、すべり台やフラワーサイクリング、アスレチックなどの遊具により幅広い年齢層が憩える施設となっています。					
事業全体としての課題		フラワーパークと一体となっているため来客者数も連動しています。フラワーパークの魅力アップのためにも季節ごとの花々や眺望を活かした周遊コース等の整備が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
		実績値	71.2	71.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	29,262	28,312	25,140	30,336	33,478	0
	実績額計	29,262	28,312	25,140	30,336	33,478	0
	予算額計	29,464	28,322	25,144	30,358	395,917	392,717
執行率	99.31%	99.96%	99.98%	99.93%	8.46%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	ふれあいの森の観光入込客数	ふれあいの森の観光入込客数を目標設定				人	31,774
	ふれあいの森の利用料金	ふれあいの森の利用料金を目標設定				千円	10,221
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
茨城県フラワーパークとの相乗効果を得るために、フラワーパークと一体的な整備を進める必要があります。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	朝日里山学校管理運営費			会計	一般会計		
根拠法令	石岡市体験型観光施設朝日里山学校条例			款	商工費		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		項	商工費		
	施策	04 観光業の振興		目	観光施設費		
			顧客(誰を)	来客者			
			意図(どのように)	誘客を図り、都市と農村の交流拠点として活用します。			
事業の概要		グリーンツーリズム事業の拠点施設として、自然環境や地元食材を活用した体験型観光に取り組んでいます。首都圏の小中学校を始め、子供会、婦人会など、都市と農村の交流を通じて、地域の活性化に取り組んでいます。					
事業全体としての課題		近年は、観光客のニーズが多様化してきており、見て楽しむ観光から、体験型観光へと変化してきています。周囲の自然環境や地域の食材を最大限に活用するとともに、地域の方々の参画が必要です。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	来訪者満足度		来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
	実績値	71.2	71.7				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	6,551	17,739	7,774	7,615	6,680	0
	実績額計	6,551	17,739	7,774	7,615	6,680	0
	予算額計	18,313	19,110	7,977	7,816	6,681	13,167
執行率	35.77%	92.83%	97.46%	97.43%	99.99%	0.00%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	朝日里山学校の観光入込客数		朝日里山学校の観光入込客数を目標設定			人	15,384
	朝日里山学校の利用料金		朝日里山学校の利用料金を目標設定			千円	12,407
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
体験メニューの充実や受け入れ体制の強化だけでなく、周辺の観光施設や地域資源との連携を強化することで、施設の魅力がより向上すると考えられます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		経済部		観光課				
事業名	まち蔵藍運営経費		予算	会計	一般会計			
根拠法令				款	商工費			
				項	商工費			
				目	観光事業費			
			事業	まち蔵藍運営経費				
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		顧客(誰を)	来客者			
	施策	04 観光業の振興		意図(どのように)	誘客を図り、にぎわいのあるまちづくりを進めます。			
事業の概要			国の登録文化財に指定されている「丁子屋」を活用し、中心市街地の観光施設として誘客を図り、にぎわいのあるまちづくりを進めます。昭和レトロな街並みを保存・継承するうえで、重要な観光施設となっています。					
事業全体としての課題			国の登録文化財に指定された昭和初期の建物を活用した、特色のある取り組みが必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度	
	最終目標	市内観光施設来客者数		やさと温泉ゆりの郷・つくばねオートキャンプ場・常陸風土記の丘・茨城県フラワーパーク・ふれあいの森・朝日里山学校・国民宿舎つくばね・石岡市観光案内所・まち蔵藍への来客者数			人	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	696,000	605,000	540,000			
		実績値	611,323	566,702				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	3,740	3,778	3,955	4,133	4,344	0	
	実績額計	3,740	3,778	3,955	4,133	4,344	0	
	予算額計	3,873	3,862	3,998	4,208	4,505	4,571	
執行率	96.57%	97.82%	98.92%	98.22%	96.43%	0.00%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	まち蔵藍利用者数		まち蔵藍の来客者数			人	10,720	
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
まちなか観光の拠点施設として一定の成果は上げていますが、公衆トイレや駐車場、休憩所などが不足しているだけでなく、案内看板や説明看板などの整備も不十分であることから、エリア全体での受け入れ環境の整備が必要です。						令和3年度		

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		観光課			
事業名	オートキャンプ場管理運営経費		会計	一般会計			
根拠法令	石岡市つくばねオートキャンプ場条例		款	農林水産業費			
体	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ	項	林業費			
	施策	04 観光業の振興	目	林業施設費			
系			事業	オートキャンプ場管理運営経費			
			顧客(誰を)	来客者			
			意図(どのように)	施設への誘客を図ります。			
事業の概要			筑波山の中腹に位置する自然に囲まれたキャンプ施設で、フリーサイトやオートサイト、ケビン棟、バーベキュー棟等を有する施設です。				
事業全体としての課題			年間の利用客数は増加傾向ではあるものの、繁忙期と閑散期との差が大きく、年間を通じた誘客を図るための取り組みが必要です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	来訪者満足度	来訪者アンケートより「今回の観光・旅行全体の満足度」における「とても満足した」「満足した」「まあ満足した」と回答した割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	71.2	71.7	72.1		
		実績値	71.2	71.7			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	10,800	11,216	14,157	11,186	10,090	0
	実績額計	10,800	11,216	14,157	11,186	10,090	0
	予算額計	11,110	11,228	14,692	11,390	10,091	12,892
執行率	97.21%	99.89%	96.36%	98.21%	99.99%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	つくばねオートキャンプ場来客者数	つくばねオートキャンプ場の来客者数				人	17,536
	つくばねオートキャンプ場利用料	つくばねオートキャンプ場の利用料				千円	22,995
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
利用者の増加と満足度の向上を図るために、周辺の観光施設や地域資源と連携した新たな枠組みでの検討が必要になると考えられます。						令和3年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		経済部		観光課				
事業名	筑波山地域ジオパーク推進事業			会計	一般会計			
根拠法令				款	総務費			
				項	総務管理費			
				目	企画費			
				事業	筑波山地域ジオパーク推進事業			
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		顧客(誰を)	市民, 来客者			
	施策	04 観光業の振興		意図(どのように)	市民へは郷土愛の醸成を目指し, 来客者へは当市への誘客を図ります。			
事業の概要		平成28年9月に筑波山地域ジオパークが日本ジオパークの認定を受けました。それに伴い, 本事業はジオパーク認定のための事業からジオパークの周知及び利活用に関する事業へとシフトしています。主な事業として, 市内の地質学的に希少なサイトや地形の成り立ちと関連が深いサイトをめぐるジオツアーの開催や, 普及・啓発のための講演会の開催などが挙げられます。						
事業全体としての課題		観光課が事業主体であるため, 教育や保全に関する事業の展開が難しくなっています。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	日本ジオパークの再認定		筑波山地域の日本ジオパークの再認定を目指します。再認定された場合「1」とカウントします。		—	令和2年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	0	0	1			
	実績値	0	0					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	5,000	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	720	0	1,110	630	0	0	
	一般財源	0	1,058	566	789	1,610	0	
	実績額計	720	6,058	1,676	1,419	1,610	0	
	予算額計	1,093	6,248	1,980	1,727	1,932	1,891	
執行率		65.87%	96.96%	84.65%	82.17%	83.33%	0.00%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	ジオツアー・講演会の開催		ジオパークの趣旨普及やジオパークを好きになってもらうため, ジョツアーやジオに関係する講演会を開催します。				回	2
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
筑波山地域ジオパークを新たな観光資源としてとらえ, 他の観光事業とも連携した新たな取組を進める必要があります。							令和2年度	

# 令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		経済部		地籍調査課			
事業名	地籍調査事業		会計	一般会計			
根拠法令	国土調査法		款	農林水産業費			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ	項	農業費			
	施策	04 計画的な土地利用の推進	目	地籍調査費			
			事業	地籍調査事業			
		顧客(誰を)	土地所有者				
		意図(どのように)	全ての所有地の境界の確認を目指します。				
事業の概要		法務局の公図及び登記簿を基に、一筆ごとの土地の所有者、地番及び地目を調査し、境界及び地積に関する測量を行い、精度の高い地図(地籍図)と簿冊(地籍簿)を作成します。					
事業全体としての課題		地籍調査事業の成果品(地籍図、地籍簿)が、法務局へ送付され、法務局備え付けの公図や登記簿が書き換えられることから、調査担当者は不動産登記にかかわる法令等についても十分理解した上で事業の推進を図る必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	地籍調査実施面積	地籍調査実施面積/地籍調査実施全体面積		km <sup>2</sup>	令和11年度以降	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	42.77	42.84	42.97		
	実績値	42.77	42.84				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	3,225	3,225	4,200	2,550	2,925	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	28	25	31	27	23	0
	一般財源	4,843	5,495	3,444	4,384	3,893	0
	実績額計	8,096	8,745	7,675	6,961	6,841	0
	予算額計	9,013	10,027	8,245	7,279	8,021	9,967
執行率	89.83%	87.21%	93.09%	95.63%	85.29%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	地籍調査の成果である正確な地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)の完成。	国の認証を得た後、地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)が法務局に送付され、地籍図は新しい公図となり、登記簿は地籍簿により書き改められます。				km <sup>2</sup>	0.07
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
年次計画に基づき、着実に事業を進めます。						令和11年度	